

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

(令和3年度「医療機関における外国人対応に資する夜間・休日ワンストップ窓口事業」受託業者)

2021年6月 マンスリーレポート

ワンストップ窓口への相談事例（土曜日の午後にも英語対応可能な耳鼻咽喉科の案内希望の事例）

ご相談：

外国籍の方がめまいの症状で耳鼻咽喉科クリニックに来院。

対応言語は英語であるが、当院では通訳アプリを使用しての診断になる。

患者本人は軽く考えているようだが、めまいの症状については様々な原因が考えられるので、詳細な聞き取りと説明ができる医療機関で受診すべきと判断している。

近隣で土曜日の午後でも英語での診療が可能な病院を探してほしい。

対応：

同市内には土曜日の午後にも診療可能な耳鼻咽喉科のある医療機関が無い為、隣接する市で土曜日の午後でも診察可能との情報のある大学病院を案内。

この病院は英語対応可だが、「日常会話レベル」との情報もある旨もお伝えし、直接この病院に連絡の上、相談いただくよう案内。

ワンストップ窓口への相談事例（コロナで帰国できなくなった外国人への救済策に関する相談事例）

ご相談：

既往症があり、薬が必要な為通院してくる外国人患者がいるが、この患者はもともと娘に会うために短期滞在目的で来日して、その後、新型コロナウイルス感染症の蔓延で帰国できなくなったまま翌月末まで滞在期間を延長して日本に滞在している。

この患者は健康保険にも海外旅行保険にも加入しておらず、今まで10割負担の自由診療を受けてきていたが、だんだん支払いが苦しくなってきたとのこと。

この患者のような、新型コロナウイルス感染症のために帰国できなくなっている外国人に対する医療費の救済措置はあるのか。

対応：

新型コロナウイルス感染症のために帰国が難しくなってしまった外国人の医療費に関する救済措置は特にない。

支払いの面で不安があれば、未払いにならないよう以下の対応を行う事を助言した。

- ・身元をパスポートでしっかり確認する
- ・日本の家族、家族の勤務先など複数の連絡先を把握しておく
- ・早い段階で費用の概算を説明しておく
- ・デポジットなどの前金制度も検討
- ・場合によっては日本にいる娘もしくはその家族に支払いを依頼できるように話しておく（医療ローンなども検討いただく）
- ・母国からの送金も選択肢として検討を依頼

以上

【本事業事務局の連絡先】

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

担当者名 麻田 ・ 大久保

TEL 03-6757-1035 E-mail biz-d@emergency.co.jp